

2009 年度  
活動報告書

特定非営利活動法人

 トルシーダ

## 2009 年度の活動を振り返って

2008 年のリーマンショック。周りから聞こえてくるのは、「解雇された。」「アパートを出なければならない。」「お父さんの仕事がないから私だけブラジルに帰る。」という話ばかり。

不況の波をかぶる人たちに、手を差し伸べる術もなく、ただ寄り添うだけだったところへ、「あなたたちにもするべきことがあるでしょう。」と言われたような 2009 年でした。国レベルでの外国人支援が始まり、トルシーダでも新たな展開がありました。

運営面では、これからも日本で頑張ろうという外国人住民と共に地域社会を考えていける団体になれるだろうか、今までそれぞれのメンバーが支援者として個人に向いていた気持ちを、組織としてどう紡いでいけるだろうか、そんなことを考える転機の 2009 年でした。



代表 伊東浄江

## 2009 年度活動報告書 もくじ

- P2 2009 年度の活動を振り返って
- P3 活動報告 (1) 日本語教室 CSN
- P5 活動報告 (2) 地域の日本語教育
- P6 活動報告 (3) 地域との交流
- P9 運営の報告 広報の記録
- P10 受賞の記録

## 日本語教室 CSN

日本の学校へ通っていない外国籍の子どもが日本語を学び、昼間安心していられる居場所をつくるために日本語教室を開いています。

外国籍の住民が多く暮らしている豊田市保見団地で、2003年から不就学の子どもの居場所づくりの日本語教室を開いています。2009年度は4月～10月までを**豊田市外国人不就学児童生徒サポート事業**、10月～3月までを**定住外国人の子どもの就学支援事業**（文部科学省・IOM）として、これまでの規模を拡大して行うことができました。保見団地以外で暮らす子どもたちを多く受け入れることができ、また、関係機関との連携も広がっています。

- a. 平日毎日行う教室活動では、初期日本語指導をはじめ、子どもたちの進路希望に応じ高校進学のための教科指導、受験指導を行っています。
- b. 遠足や地域のイベントへの参加など体験型の学習を通じて子どもたちの社会性をやしなう活動を積極的に行っています。

- ・子どもわかもの元気セミナー（セルフエスティーム講座参加5月20日）・調理実習からあげ（6月12日保見交流館）・豊高フェスティバル見学（6月10日）・日食をみよう（7月22日）



- 保見交流館夏休み料理講座（講師と参加 8月5日中京大学大村ゼミ主催）・大学生とのサッカー大会（9月6日保見グラウンド）・猿投神社探検（11月16日）・お寺見学（12月7日）・大学生との交流会（中京大学12月15日愛知淑徳大学）・地域の落ち葉清掃と焼き芋とテニス体験（12月16日保見グラウンド）・防災教室（12月7日）・ヤクルト工場見学と愛知牧場遠足（12月20日）

- ・クリスマス会（12月22日保見交流館）・豊田駅前探索（1月30日）・東保見小学校との交流見学会（2月18日）・中馬のおひなさん見学（3月3日）・健康フェスティバル（3月11日健康診断と栄養教室 保見交流館）
- ・防犯教室（3月16日）・フットサルコート清掃（3月23日）



- c. 子どもたちの進路について、本人や保護者と共に考えるために、進学や教育制度に関する情報提供を行っています。今年度は、ブラジル人学校出身の2名が中学校卒業程度認定試験合格を経て、県立高校、定時制高校に入学することができました。

### <活動実績>

- 期間：2008年4月～2008年10月16日 10:00～12:00（128回）  
2008年10月19日～2009年3月 9:30～14:30（97回）  
月曜日～金曜日 計225回

■場所：UR 都市再生機構保見ヶ丘第一、第二集会所

■学習者 7歳～18歳 外国籍の子ども 計42名

不就学 28名 (内ブラジル21名、フィリピン4名、中国3名)

公立中学校(不登校) 3名 (内ブラジル2名、フィリピン1名)

公立小学校(不登校) 1名 (ブラジル1名)

ブラジル人学校生 10名

[ 2009 年度日本語教室 CSN 指導日数と子どもの在籍数 ]

月	指導 日数	新規 入室	退室 人	当月末 在籍者数	CSN 退出後の進路
	日	人	人	人	
4月	19	2	0	19	(17名は昨年度から引き続き在籍)
5月	17	1	2	18	帰国1 ブラジル人学校新規編入1
6月	22	0	1	17	帰国1
7月	22	2	4	16	帰国2、就労1、ひきこもり1
8月	17	0	1	14	帰国1
9月	21	0	1	13	就労1
10月	20	0	1	12	帰国1
11月	19	6	0	18	
12月	16	3	0	21	
1月	16	0	1	20	就労1
2月	19	6	2	24	ブラジル人学校新規編入1、就労1、
3月	17	5	11	18	公立小学校1、公立中学校2、県立高校2、ブラジル人学校6
計	225	25	24	参加者 総数42	県立高校入学2、公立中学校編入2、小学校1、ブラジル人学 校(新規2、継続6)、帰国6、就労4、ひきこもり1

支出額 8,651,191 円

収入額 8,613,361 円

活動報告(2)日本語教育事業

## 地域の日本語教育

外国籍の住民が日本語を学ぶ場を作り、地域での暮らしを応援するために、日本語教室などを行っています。大人を対象とした日本語教室を行いました。

## 日本語指導者の研修会

トルシーダの日本語教室で指導に関わる指導者が指導力向上や学習内容の検討のため、毎週金曜日の授業終了後に勉強会を続けています。オリジナルテキストの活用法や、副教材の作成などテー

マを持ち寄って課題解決に取り組んでいます。また、2009年度は、'09とよたNPO大学、愛フェス事前研修会等にも参加し、NPOの運営、会計、広報について学び活動に生かしています。

<自習勉強会>

- 期間 2008年4月～2009年3月 毎週金曜日 日本語教室CSN授業終了後 25回
- 場所 保見交流館およびUR都市再生機構保見ヶ丘第二集会所
- 参加者 日本語教室CSNの指導者 8名

---

## 夢育日本語講座

就労支援として、2008年4月～10月まで平日に週5回、日本語教室を開催しました。10名の受講者が半年間受講し、2名が日本語能力検定試験3級に合格しました。10月以降は中級日本語講座へと事業内容を移行しました。(夢育プロジェクトとの協働事業)

<活動実績>

- 期間：2008年4月～10月 月～金 9:00～12:00の間で  
1時間～1時間半の授業 計196回(のべ256時間)
- 場所：UR都市再生機構保見ヶ丘第二集会所
- 受講者：就労に日本語を必要とする青少年、成人10名



---

## 日本語クラブWAKABA



主にブラジル人学校に通っている7歳～15歳までの外国籍の子どものを対象として、日本語教室を開催しました。また、保護者を対象とした面談を実施し、日本での進路について情報提供を行いました。10月以降は日本語教室CSNへと事業内容を移行しました。(愛知県日本語学習支援基金助成)

<活動実績>

- 期間：2008年4月～9月 毎週金曜日 10:00～11:30 計23回
- 場所：UR都市再生機構保見ヶ丘第一集会所
- 学習者：7歳～15歳 7名 (内3名が日本語能力検定試験3級合格)

---

## 中級日本語講座

雇用環境の悪化で職を失った外国籍の住民の就労に役立つように日本語教室を開催しました。実際に仕事をする際に必要となるコミュニケーションや就職のための情報がわかるように漢字の学習も行いました。(豊田市産業労政課外国人就労支援研修委託)



## <活動実績>

■期間：1ターム 2008年9月2日～2008年12月23日

2ターム 2009年1月4日～2009年3月26日

月、水、金 19:00～20:30 計80回

■場所：豊田市就労支援室（T-face9階）とよた市民活動センター

■学習者数1ターム27名、2ターム20名（内就労14名 日本語能力試験3級合格5名）

支出額 1,586,975円

収入額 2,128,105円

## 活動報告(3)情報提供事業

# 地域との交流

## 生活や教育に関する情報提供・相談

日本で暮らしている外国籍住民の生活の困りごとの相談窓口となり情報提供を行っています。また、不就学やブラジル人学校に通う子ども、また来日直後の子どもやその家族から相談を受け、日本での進学や進路についての情報提供を行い、必要な場合には通訳を用意したり専門機関につながるなどの活動を、通年、無料で行っています。今年度は、ブラジル人学校や公立高校を退学した子の進路、政府の帰国支援策の手続き、社宅を出た人の住居探しなど、経済の悪化による影響を受けた人からの相談が例年になく多くありました。

また、地域の様々な立場の方に、外国籍の子どもたちの存在を知ってもらい、交流を経験してもらう目的で、社会福祉協議会ボランティア体験隊2009の受け入れを行いました。7月と8月で計8名の社会人や中学生にボランティアに参加していただき、実際に日本語教室の会話練習の補助に入ってもらったり、教材作成のお手伝いをしていただきました。

## フットサルと隣人まつり

2009年7月5日に保見団地FOXタウン周辺地域で開かれた祭り（元気隣人プロジェクト主催）に、トルシーダのボランティアと子どもたちが参加、実施協力しました。まつりでは、映画「ブラジルからきたおじいちゃん」の試写会を開き、地域の方に日系人の移民の歴



史について考えていただく機会となりました。また、子どもたちのフットサル大会やかき氷、リサイクルバザー、七夕の短冊や水風船釣り、生活相談コーナーや英語ポルトガル語教室無料体験などちょっとした楽しみで、地域みんなが元気になるような催しとなりました。





## 愛フェス —日本初ファンドレイジングイベント—

2009年9月5日、6日にモリコロパークで初めて開催されたファンドレイジングイベント愛フェスに、青少年の就労支援を行っている夢育プロジェクトと共同出展しました。日本語教室CSNの子どもたちとスタッフ全員で活動の内容や学習成果を掲示し、漢字ゲーム、缶バッジ製作、ボディペイントのサービス、来場者の参加型アンケートを行い、日本にいる外国籍の子どもたちの存在アピールをしました。イベントの入場者から活動に対する応援メッセージと志金（入場料の一部を活動資金として参加団体に再分配するシステム）を頂戴するという形式でしたが、参加62団体の中で上位11番目という好結果となりました。



## 外国人就労支援セミナー

失業中の外国籍住民が、就労に必要な知識と技術を身につけ、いろいろな働き方があることを知り、働く意識を変えることで就労の機会を掴むことを目的としてセミナーを開催しました。前半5回は、服部公益財団 YAMASA 言語文化研究所から講師を招き、就労する際に必要になる履歴書の書き方や面接の受けかたなどの講習を行いました。後半の5回は外国籍



の若者の就労支援をしている夢育プロジェクトのネットワークの中から、様々な講師に来ていただき、今後日本で仕事をし続けるために必要な心構えを中心にお話いただきました。（豊田市産業労政課外国人就労支援研修委託）

### <活動実績>

- 期間：2008年10月15、22、29日11月5、12日13:30~15:30  
2009年1月9、17、30日2月14、21日14:00~16:00  
計10回
- 場所：豊田市就労支援室（T-face9階）とよた市民活動センター
- 参加者数 前半第1回~5回計36名、後半第1回~5回計49名



	講師	テーマ
前半第1回 10月15日	YAMASA 言語文化研究所国際部	履歴書の書き方を勉強する
第2回 10月22日	//	実際に履歴書を書いてみる
第3回 10月29日	//	履歴書や面接での自己アピールの方法
第4回 11月5日	//	面接と入社してから役立つビジネスマナー
第5回 11月12日	//	模擬面接
後半第1回	日伯協会小池リカルドさん	日系人の就労の状況とこれからの就労に必要な資格やスキル、考え方
第2回	求人誌 CHANCE 原田篤実さん	求人の現状
第3回	浜松国際交流協会堀永乃さん 豊田市社会福祉協議会久米さん	新しい働き方「介護」
第4回	夢育プロジェクト代表	就労規則から職場のルールを学ぶ
第5回	大同金属社長 永井さん 夢育プロジェクト 菅原純子さん	日本の企業が求めている“人財”とはワークショップ

## 進路のブックレット「地域で育つ. 花咲く国際人」

日本に住む外国籍の子どもたちが将来について考えるときの参考になるよう、日系ブラジル人やペルー人が実際に日本で就いているさまざまな職業や進学している学校を紹介する冊子を日本語とポルトガル語の2言語で作成しました。



また、進路ガイダンスを開き、実際に日本で活躍している身近な先輩たちの経験談を聞きました。そして、1年後、3年後、10年後の自分について予想する作文の発表会を行い、将来について具体的に考える機会となりました。(公益信託愛地球博開催地域社会貢献活動基金助成事業)

<ブックレットのインタビュー対象者の職業>

高校生、大学生、プロフットサル選手、演歌歌手、事業家、英語教師、通訳、ホテルマン、自動車整備会社社員、社会福祉法人職員



人権教育推進のための調査研究事業への参加

(豊田市次世代育成課)

支出額 2,199,352 円

収入額 1,903,078 円



## 運営の報告

**総会 第一回** 平成 21 年 6 月 12 日 16 時～18 時 保見交流館中会議室にて

平成 19 年度事業報告（案）平成 19 年度収支決算（案）

平成 20 年度事業計画（案）平成 20 年度収支予算（案）について

**理事会 第一回** 平成 21 年 6 月 7 日（15 時～17 時）理事長自宅にて

平成 19 年度事業報告（案）平成 19 年度収支決算（案）

平成 20 年度事業計画（案）平成 20 年度収支予算（案）および今年度の事業実施について

**理事会 第二回** 平成 22 年 2 月 16 日 15 時～16 時 とよた市民活動センター

平成 21 年度事業計画変更および予算変更案について

## 広報の記録

日本経済新聞夕刊「日本ブラジル共存の街豊田・保見団地に住んでみる」  
失業給付で持久戦(4/9) 不況で帰国する子供たち(4/16) 不就学児を支援(5/7) 子どもの健康が心配(5/21) NPO 女性が主役～わが子同然親身の指導～(6/11) 「未来の日本」を見た旅 (6/25)

NHK 福祉ネットワーク 僕も学校に行きたい—経済危機ゆれる外国人教育—(4/22)

アルク月刊『日本語』（7月号）外国人就職支援の現場を訪ねる③

中日新聞 21 団体が日本語教室文科省選定日系の子向け無料で(9/3)

朝日新聞 豊田市とNPO「中級」教室再就職へ日本語力磨く (9/24)

中日新聞 厳しさを増す外国人の雇用(10/5)

中日新聞 面接ノウハウ学ぼう外国人対象就労セミナーはじまる(10/16)

テレビ愛知「NEWS FINE アイ」(10/22)

毎日新聞 学びたい外国人の教育機会愛知豊田の日系少年「もっと勉強したかった」(11/4)

朝日新聞 マイタウン「この人に聞きたい」就学支援の幅広げたい(12/6)

毎日新聞 共に生きる外国人の教育機会 退学して独り立ち 僕は日本で夢を追う(12/24)

FM とよた ホットニュースとよた 530 日本語を学びたい外国人の子どもたち募集(1/11)

中日新聞 豊田なんかみよし 学べば日系人に転機 (1/21)

テレビ愛知「NEWS FINE アイ」 ひき逃げから 1 週間日系人社会に広がる波紋(2/8)

豊田市政番組とよた NOW 特集「トルシーダ！日本語を学びたいこどもたち」(3/15) <http://www.city.toyota.aichi.jp/toyotanow/tokusyu1003.html>



受賞の記録

こどもにほんご宝島賞【発展活動編 特別賞受賞】



カラフルなイラストや写真が満載で、思わずその場所に飛んでいきたくなってしまいました。今後は、写真を説明する文章を書いて発表してみるのも面白いでしょう。(尾関)

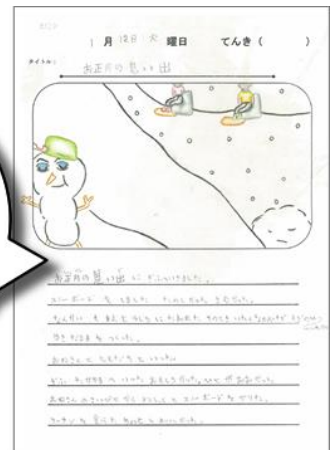
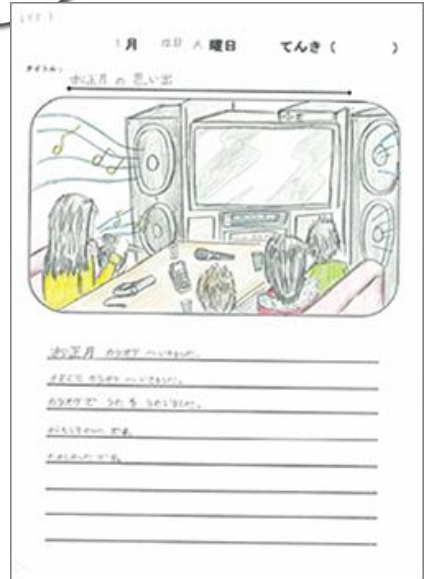
吹き出しの細かい説明やコメントが面白いです!(谷)

こどもにほんご宝島賞【本編利用編 特別賞受賞】

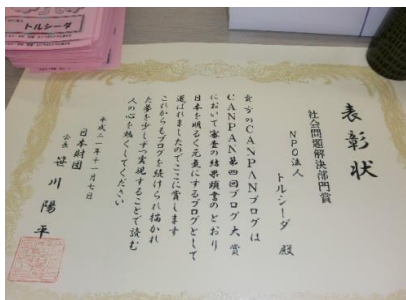


すごい! 絵が上手い!  
今持っている言葉を駆使して書いてくれたんだなあと感じました。  
短い中に初もうでの様子が目にうかびました。(谷)

冬休みの絵日記: 李焱さん  
冬休みの絵日記: アイザワヒロシさん  
冬休みの絵日記: レイマート・トラバソスさん  
冬休みにしたことを絵とともに一生懸命書いている様子が伝わってきました。書いた日記をみんなで読み合ってみるのも、面白いでしょう。(尾関)



CANPAN ブログ大賞 2009 社会問題解決部門賞受賞



会員の皆様へ

地域の外国籍住民を応援する  
活動を支えていただき  
ありがとうございます。

2009 年度寄付を頂戴した団体・企業・個人の皆さま

三井物産株式会社

日本イラストレーション協会

とよた学生プロジェクト

有限会社カイカワ

原啓一郎 澤口朱実 堀江京子 森敬子 大谷かがり 末廣夏子

(敬称略 順不同)

.....  
会員になって活動を応援してください！

賛助会員 年会費 1口 1000円

郵便振替口座：008906129519

加入者名：特定非営利活動法人トルシーダ

入会のご希望は↓

.....  
特定非営利活動法人トルシーダ

活動場所：愛知県豊田市保見ヶ丘 5-1-1 UR 都市機構保見ヶ丘第一、第二集会所

団体 TEL 090-6462-3867

メール [torcidajpp@yahoo.co.jp](mailto:torcidajpp@yahoo.co.jp)

ホームページ <http://www.geocities.jp/torcidajpp/>